

## 環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	1MF-2403
研究課題名	ネイチャーテクノロジーを活かした「負から正への転換」のための社会科学技術論と自然の模倣を通じた発想転換型イノベーションのための政策研究
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	東京大学
研究代表者名	香坂玲

### 1. 評価結果

評価ランク：A

### 2. 委員の指摘及び提言概要

バイオミクリーへの社会的なコンセンサスを得るうえで、本課題は強固な基盤を築きつつあると評価できる。また、本課題は、自然科学や社会科学を統合して環境政策の新しいパラダイムを提案しようとする野心的な試みであり、地域循環共生圏の理想的な未来と現状との間のギャップを埋めるための計画は妥当であると評価できる。とはいえ、効率的な合意形成を実現するためには、持続可能性の向上効果について十分な検証が必要であり、そのためには、多様な切り口（指標）による定量分析や、それを多様なステークホルダーが、自らの価値から評価・判断を行いやすいことが前提となる。研究の成果が多様なステークホルダーに対して分かり易い形で提示されることが重要である。また、行政との議論を積極的に行っていることは評価するが、他の研究分野（生態学、環境社会学など）との十分な議論を行いながら研究を進めていただきたい。